

教育長就任にあたって

教育長 高取 堅二

この度、九月十四日付で都留市教育長に就任いたしました。もとより浅学非才ですが、全力を尽くしてこの重責を果たしてまいりたいと存じますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

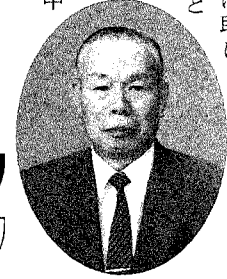
教育の目標は言うまでもなく、人格の完成を目指していくことであり、しかもそれは、生涯学び続ける学習によるところが多大であります。

しかし、現在は厳しい社会情勢を反映して教育も多くの問題をかかえております。今こそ、家庭教育、学校教育、社会教育、それぞれが連携して教育の目標に向かってともに努めなければならない時です。

例えば、少子化による家庭教育のあり方、学校教育における個性を尊重した「心の教育」、高齢社会を迎えての生涯学習への取り組み、さらにマルチメディア時代の到来による情報化社会への対応など、いずれも今まで経験したことのない問題はかりです。

このことから、二十一世紀をめざして、温故知新の心で豊かな自然と歴史と伝統文化の息づく都留市に相応した教育システムをどう構築すべきかを教育現場の方々や市民の皆さんとともに真剣に取り

組んで参りたいと思っておりますので、何卒よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。



生涯学習通信

生涯学習推進会議普及・啓発部会

《のびのび いきいき 生涯学習》

都留市中央公民館学級の紹介2

【田野倉学級】

私たち田野倉学級は、設立して十三年になります。都留市といっても大月に一番近く、禾生地区田野倉の四十代・六十代の主婦の集まりです。一カ月に一回、年間十二回くらい、田野倉公民館で学習活動をしています。学習計画はみんなで話し合い、やりたいことを選びます。日本舞踊・フォークダンスを習ったり、ペストを編んだり、お料理の講習会を開いたり、野外学習としてハイキングをしながら野草について勉強し、その野草を使って押し花を作ったり、押し花を色紙に貼っての押し花絵を作ります。

また、ボランティアとして都留市立病院内にて看護のお手伝い、自分の持っている布を持ち寄ってのお手玉・きんちゃく・袋などの製作、また、暮れには公民館の掃除をしながら地区の情報交換をしたりなど、学級員の絆を大切にしながらか仲良く長く続けていけるよう、小人数ながら和気あいあいと進めてきました。

これからは学級員を増やし、中味のある学習を続けていきたいと思っています。禾生地区の方ならどなたでもこの輪の中に入ってください。お待ちしています。

問合せ 河野てる子 ☎(43) 8352



端布を利用して袋作りをする
田野倉学級の皆さん

【長者町学級】

私たち長者町学級は七年目に入りました。毎年度の初めに、学級生全員で自分たちが勉強したいことを話し合い、学習内容を決めていきます。五月には葛野川発電所を見学してきました。また、菊の苗づくりも行い、七月下旬には大きな鉢への植え替えをしました。六月は帽子づくり、七月・八月は洋裁(リフ・フォーム)で、ダンスの中に眠っている布地やきもの、スカートなどをほどこいてブラウス、スカート簡単な上着などに仕立て替え、九月・十月はパッチワークを行いました。十一月は菊の花見学(大月市富浜町)、十二月・一月は編み物(くつ下カバー)などを予定しています。

私たちもこのような学級を通して、地域の皆さんと親しくなれたこと、自分には出来ないと思いついていたことも、

学級の皆さんと一緒に一つのことをお互いに教え合い、作品の出来上がる楽しさを味わい、学級生全員が生き生きと活動しています。

問合せ 笠井紀枝 ☎(43) 4103



洋裁を学ぶ長者町学級の皆さん

【鎌倉彫学級】

私たちの鎌倉彫学級は、平成七年度に行われた都留市中央公民館事業「鎌倉彫教室」で学んだ仲間が、このまま終わってはと話し合い、自主学級「高月会」として、会場を禾生地城コミュニティセンターをお借りして発足しました。

学習は、原則として毎月第二水曜日の午後一時から四時三十分までの月一回と定めて、平成七年の十二月より一度も休むことなく続けてきています。

また、その後うれしいことに、平成九年度より「鎌倉彫学級」として都留市中央公民館の指定を受けることができ、二年目になりました。

当初五名でスタートした会員も、この間出入りはあったものの、現在は十名で楽しい会話があたり、和気あいあいのうちに学習が進められています。

今までつくったみんなの作品には、菊文、びん敷、葉文丸盆、万年青文丸盆、ブローチ各種、名刺皿、銘々皿、香合、手鏡、角盆、長方角盆など多種多様で、作品の発表の機会としては、禾生ふれあいの集い、公民館まつり、都留市文化祭のそれぞれに展示してきました。

問合せ 佐藤政利 ☎(43) 4764



彫刻を楽しむ鎌倉彫学級の皆さん